# JAID/JSC 感染症治療ガイド 2023
# 正誤表

記載に誤り及び変更がありましたので，下記のように修正させていただきます。

2025 年 2 月
JAID/JSC 感染症治療ガイド・ガイドライン作成委員会

以下は「第 1 版（第 7 刷）」（2025 年 2 月 2 日発行）以降では修正済

P35「Ⅲ細菌性髄膜炎，3 治療・予後総論，図Ⅲ-1 髄液グラム染色で原因菌推定が可能な場合」

| 誤 |
|---|
| グラム陰性桿菌　*N.menintitidis* |
| 正 |
| グラム陰性球菌　*N.menintitidis* |

**********

以下は「第 1 版（第 6 刷）」（2024 年 9 月 30 日発行）以降では修正済

P274「X 皮膚軟部組織感染症，P *Aeromonas hydrophila* 感染症, 2 Definitive Therapy」

| 誤 |
|---|
| CFPX 点滴静注 1 回 300～500mg・1 日 2 回 |
| 正 |
| CPFX 点滴静注 1 回 300～500mg・1 日 2 回 |

**********

以下は「第 1 版（第 5 刷）」（2024 年 5 月 21 日発行）以降では修正済

P67「Ⅳ感染性心内膜炎，表Ⅳ-5 心疾患を有する患者への，歯科口腔外科手技・処置に対する抗菌薬による予防法†」

| 誤 |
|---|
| ペニシリンアレルギーを有する場合 3)<br>経口投与可能<br>AZM　成人：経口 1 回 500mg または徐放製剤 2g |
| 正 |
| ペニシリンアレルギーを有する場合 3)<br>経口投与可能<br>AZM　成人：経口 1 回 500mg |

P160「Ⅶ呼吸器感染症，A-6-6 肺ムーコル症　推奨される治療薬」

| 誤 |
|---|
| ・・・アゾール系薬の PSCZ が、2022 年から ISCZ が使用可能となった。 |
| 正 |
| ・・・アゾール系薬の PSCZ が、2023 年から ISCZ が使用可能となった。 |

P269「X皮膚軟部組織感染症，M 壊死性筋膜炎　推奨される治療薬」

| 旧 |
|---|
| （腎機能廃絶が危惧される場合）上記の CLDM の代わりに、LZD 点滴静注 1 回 600mg・1 日 2 回・診断確定まで |
| 新 |
| （腎機能廃絶が危惧される場合）TAZ/PIPC または MEPM に、LZD 点滴静注 1 回 600mg・1 日 2 回を追加・診断確定まで |

**********

以下は「第 1 版（第 4 刷）」（2024 年 3 月 3 日発行）以降では修正済

P24「Ⅱ発熱性好中球減少症，図Ⅱ-2 発熱性好中球減少症の治療アルゴリズム」

| 誤 |
|---|
| 外来治療　経口抗菌薬　CPFX または LVFX ± CVA/AMPX |
| 正 |
| 外来治療　経口抗菌薬　CPFX または LVFX ± CVA/AMPC |

P84「V 中耳炎および鼻副鼻腔炎，C 急性鼻副鼻腔炎−小児 推奨される治療薬 一次治療」
P89「V 中耳炎および鼻副鼻腔炎，D 急性鼻副鼻腔炎−成人 推奨される治療薬 一次治療」

| 誤 |
|---|
| 重症（7〜8 点以上） |
| 正 |
| 重症（7〜8 点） |

P85「V 中耳炎および鼻副鼻腔炎，C 急性鼻副鼻腔炎−小児 推奨される治療薬 二次治療」
P85「V 中耳炎および鼻副鼻腔炎，C 急性鼻副鼻腔炎−小児 推奨される治療薬 三次治療」
P90「V 中耳炎および鼻副鼻腔炎，D 急性鼻副鼻腔炎−成人 推奨される治療薬 二次治療」

| 誤 |
|---|
| 初診時 重症（7〜8 点以上） |
| 正 |
| 初診時 重症（7〜8 点） |

P91「V 中耳炎および鼻副鼻腔炎，D 急性鼻副鼻腔炎−成人 推奨される治療薬　三次治療」

| 誤 |
|---|
| 初診時 重症（12 点以上） |
| 正 |
| 初診時 重症（7〜8 点） |

P101「VI急性扁桃炎・咽頭炎，C-1 急性喉頭炎―成人　推奨される治療薬 一次治療
ペニシリンアレルギーの場合」

| 誤 |
|---|
| AZM 徐放製剤 経口 1 回 2g・単回投与 |
| 正 |
| 削除<br>＊徐放製剤が販売中止のため |

P181「Ⅶ呼吸器感染症，D-2 慢性呼吸器疾患（COPD，気管支拡張症，陳旧性肺結核など）の気道感染症 入院治療 重症例」

| 誤 |
|---|
| CPR 点滴静注 1 回 1～2g・1 日 2～4 回†（添付文書最大 4g/日） |
| 正 |
| 削除　＊販売中止のため |

**********

以下は「第 1 版（第 3 刷）」（2024 年 1 月 22 日発行）以降では修正済

P107「Ⅶ呼吸器感染症，A-1 市中肺炎　非定型肺炎 入院治療」
P109「Ⅶ呼吸器感染症，A-1 市中肺炎　細菌性肺炎か非定型肺炎か明らかでない場合 ICU 入室を要する超重症例」

| 誤 |
|---|
| PZFX 点滴静注 1 回 500~1,000 mg・1 日 2 回 |
| 正 |
| 削除<br>＊入院治療の際に選択薬として推奨した PZFX については、薬剤感受性試験の結果、肺炎マイコプラズマに対する活性が低く、また保険適用外であることから治療薬として推奨をしないこととし削除といたします。 |

**********

以下は「第 1 版（第 2 刷）」（2023 年 12 月 8 日発行）以降では修正済

P169「Ⅶ呼吸器感染症，B 胸膜炎・膿胸（成人）」

| 誤 |
|---|
| 第二選択<br>LSFX 点滴静注 初日 300 mg・1 日 1 回，投与 2 日目以降 150 mg・1 日 1 回* |
| 正 |
| 第二選択<br>LSFX†点滴静注 初日 300 mg・1 日 1 回，投与 2 日目以降 150 mg・1 日 1 回* |

P171「Ⅶ呼吸器感染症，C 抗酸菌感染症（成人） C-1 肺結核」

| 誤 |
|---|
| 標準治療<br>+EB 経口 1 日 1 回（15 mg/kg/日，最大 750 mg/日）または SM 筋注 1 回 15mg/kg・1 日 1 回（初期 2 か月間は毎日投与してよいが最大 750 mg/日，週 3 回の場合は最大 1,000 mg/日） |
| 正 |
| 標準治療<br>+EB 経口 1 日 1 回（初期 2 か月間は 20 mg/kg/日，最大 1,000 mg/日，3 か月目以降も継続する場合は 15 mg/kg/日，最大 750 mg/日）または SM 筋注 1 回 15mg/kg・1 日 1 回（初期 2 か月間は毎日投与してよいが最大 750 mg/日，週 3 回の場合は最大 1,000 mg/日） |

P187「Ⅶ呼吸器感染症，E インフルエンザ（成人）」

| 誤 |
| --- |
| ペラミビル点滴静注１回 300 mg・単回投与（症状に応じて連日反復投与可） |
| 正 |
| ペラミビル点滴静注１回 300 mg・単回投与 |